

<p>○委員からの 意見・質問</p> <p>○それに対する 回答等</p>	<p>・産業廃棄物の処分状況について、確認して報告頂きたい。</p> <p>【抽出事案について】</p> <p>1 [板付米軍(30支)倉庫等新設建築工事]</p> <p>(一般競争(政府調達協定対象外))</p> <p>・段階的選抜方式を採用しているが、参加資格者数から入札参加者数が減となった経緯を説明されたい。</p> <p>・参加者数が10者に満たなかったが、どのような状況を想定していたのか。</p>	<p>で発生するアスベスト等の処分について産業廃棄物処理法等に基づき処分できることを確認し、適正な施工が可能であると判断した。</p> <p>北熊本(30)既設建物解体工事については、解体工事に多数の実績がある業者であり、自社保有の廃棄物処理場及び機材等の活用並びに長年の提携会社の協力により、経費を低減しながらも品質を落とすこと無く効率的な施工が可能であることに加え、産業廃棄物について建築リサイクル法に基づき処分できることを確認し、適正な施工が可能であると判断した。</p> <p>・了解した。</p> <p>・本件は、福岡空港の一面に倉庫及び給油スタンド等を新設するものである。建物の特徴として、鉄骨部分の高さが地上から約9.5mもあり建物の高さが高いことと、スパン41mの途中に柱がない大空間となっていること、また、建設予定地の地盤が悪いため、基礎の補強として杭を施工していることから高額事案となっている。</p> <p>WTO基準額以上で多数の参加者が予想される工事として段階的選抜方式を採用している。本方式では、一次審査において上位10者を選抜し、二次審査において、この10者に技術提案を提出させ技術力を競わせて評価点を算出し、最終的に入札価格とあわせて総合評価を行うものである。</p> <p>入札参加者が減となった要因であるが、二次審査における技術提案提出後に各者個別にその評価結果を通知するが、辞退した業者は結果的に高い評価を得られなかった業者であり、自身の評価が20点から34点と低かったため、落札は難しいと判断したのではないかと推測する。</p> <p>・前年度に、同様の建築工事として佐世保米軍の倉庫新設建築工事を段階的選抜方式で発注しているが、その際は16者が応募している。本件は、場所的にも福岡市ということで、より多数の応募があると想定していた。</p>
--	---	---

<p>○委員からの意見・質問</p> <p>○それに対する回答等</p>	<p>・一次審査の結果を7月27日までに通知し、二次審査の結果は9月10日に通知と、期間的に長い。業者同士の情報交換の懸念については、どのような見解か。</p> <p>2 [奄美(30)車両整備場等(奄美地区)新設電気その他工事]</p> <p>(一般競争(政府調達協定対象外))</p> <p>・1者応札及び高落札率となった要因について、説明されたい。</p> <p>・高落札率への取り組みは、何かあるか。</p> <p>・局の独立性の観点から、離島対応型の積算資料はないのか。</p>	<p>・本件は、電子入札システムを利用して実施しており、一次審査の結果通知については、各者個別に郵送しているため、他者の状況は分からない。期間的に長いために、業者間での情報交換がなされる懸念については可能性が無いとは言えないが、通常の入札も、資格通知から入札まで期間があるのは同様である。疑義等が生じた場合、法令等に則り対処し、関係機関に通報を行う。</p> <p>・本件は、奄美新駐屯地における車両整備場及び貯蔵庫新設に伴う電気と通信工事である。参加資格要件を満たす電気工事「A」の島内業者は2者居るが、島内の別工事で対応出来ないことに加え、島外の鹿児島市内の業者においても鹿児島県内は建設ラッシュであり、技術者及び労働者不足が深刻な状況であったため、1者応札となったものと推察される。なお、県内の状況については、本件以前に公告した奄美大島内の電気工事が不成立となった際にヒアリングを通じて判明したものである。また、本件が見積活用方式を採用しており、業者が提出した見積を受け、妥当性を確認できた単価及び価格を採用していること、共通費は通常使用している公共建築工事積算基準に基づき算出することとなっていることから、高落札率になったものと推察される。</p> <p>今回、配置予定技術者の実配置期間の明確化及び労働者不足を踏まえた見積活用方式により発注を行ったが、結果的に1者となったことを踏まえ、工事の規模・内容にもよるが、さらに、配置予定技術者の経験としての工事の規模を求めないことや級別の格付けの拡大等の参加資格要件の緩和を実施し、1者応札の改善に努める。</p> <p>・離島工事については、見積活用方式を採用するなどにより、入札参加意欲を高めて競争性が向上する様努めている。</p> <p>・離島工事に対応した積算資料はないものの、採用した業者見積については、施工体制台帳等で確認を実施している。</p>
--------------------------------------	---	--

<p>○委員からの 意見・質問</p> <p>○それに対する 回答等</p>	<p>3 [福岡病院(30)病院本館新設建築 その他設計]</p> <p>(公募型プロポーザル方式)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公募型プロポーザル方式で1者のみの参加となった要因を説明されたい。 ・基本検討及び基本設計を実施後の実施設計となれば、現実的には他の業者の応募は難しいのではないか。 ・提出される技術提案書は、どのようなもので、どれほどの量があるのか。 ・基本設計には、基本コンセプトのようなものは記載されているのか。 ・特定テーマの出し方が曖昧だったのではないか。具体的かつ応募しやすいものをテーマにするのが良い。 <p>4 [海栗島(30)設備工事監理業務]</p> <p>(一般競争(政府調達協定対象外))</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1者応募となった要因について、説明されたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・本件は、地上7階地下1階、面積約26,100㎡の病院本館新設に伴う建築及び設備の設計業務である。大規模な総合病院の設計において品質を確保するためには高度な技術、創造力及び応用力が必要であるためプロポーザル方式としたものである。1者応募の要因としては、本件以前の27年度に同病院の基本検討、29年度に同病院の基本設計をプロポーザル方式により発注したところ、複数の業者が参加し、評価の結果、いずれも今回の落札業者が落札した。これまで受注した業者が内容を熟知しており優位性があるため、他の業者が敬遠したものと推察される。 ・内容を熟知している強みは確かにあるが、他社を排除する入札方式を取らないということで、競争性を持たせて発注している状況を御理解頂きたい。 ・与えられた特定テーマに対する回答について、A4サイズで4枚ほどである。今回の特定テーマは、「自衛隊基幹病院として、実施設計で対応すべき留意点について」及び「医療機器更新等に対して、実施設計で対応すべき留意点について」とした。実際に自衛隊病院を視察または病院からヒアリングなどで情報収集を実施すれば提案書は作成可能であるが、非常に時間と手間と費用を要し、限られた期間で自衛隊病院独自の任務の特殊性を踏まえて、質の高い回答をすることは、難しいと考える。 ・ある程度は記載している。実施設計に参加する業者が希望すれば、当然お見せする。 ・応募しやすく、かつ評価できるテーマに留意する。
--	---	--

<p>○委員からの意見・質問</p> <p>○それに対する回答等</p>	<p>・ 3回目の入札での落札であるが、応札額と予定価格の差について、説明されたい。</p> <p>・ 不調となった場合に再公告を行い、再度不調になった場合、特に工事が目前に迫っている場合は職員が現場で監理業務を行うことになるのか。</p> <p>・ 不調が続いた場合に、職員が現場に出向くなど、どのような手立てが良いのかは検討された方がよい。</p>	<p>電気技術者を延べ137人日、機械技術者を延べ125人日、通信技術者を83人日を見込んで、施工監理を行うものである。1者応札の要因としては、業務場所が離島であり、各技術者の移動や宿泊場所等の不確定要素を多分に含んでおり、各技術者が担当している他の業務への影響を考え、参加を躊躇したのではないかと推察される。</p> <p>・ 1回目の入札時に提出された内訳書を確認したところ、諸経費及び技術経費に差異が大きかった。諸経費については、本来含めない直接人件費を計上しており、さらに直接人件費に各技術者の移動拘束費を含めて計算されていたことにより約630万円、技術経費については、算定要領に記載した割合よりも多く算定していたため約80万円の差異が生じた。入札後に、設計業務委託積算価格算定要領の内容を補足として説明を行い、改めて2回目の入札を実施、最終的に3回目の入札で落札に至ったものである。</p> <p>・ 職員が実施するのか、または年度を変えて再度公告を行うことが考えられるが、その際は参加資格要件を緩和する対応を行う。 直ちに工事に影響が出る場合は、契約成立までの期間は職員が現場で監理業務を行うことが考えられる。</p>
<p>委員会による意見の具申又は勧告の内容</p>	<p>なし</p>	

<p>2. 談合疑義案件の処理状況について</p>		
<p>談 合 疑 義 件 数</p>	<p>0 件</p>	<p>(審議概要)</p>
<p>工 事</p>	<p>談 合 情 報 点 検 結 果 疑 義</p>	<p>なし</p>
<p>業 務</p>	<p>談 合 情 報 点 検 結 果 疑 義</p>	<p>なし</p>
<p>○委員からの意見・質問 ○それに対する回答等</p>	<p>意見・質問 なし</p>	<p>回 答</p>
<p>委員会による意見の具申又は勧告の内容</p>	<p>なし</p>	

3. 入札結果の事後的・分析結果について（公正入札調査会議への報告内容の確認等）		
審 議 概 要	<ul style="list-style-type: none"> ・ 契約件数と落札率、応札率の分析 ・ 契約件数と一位不動・順位不動の分析 ・ 低入札、不調、不成立事案の分析 	
○委員からの 意見・質問 ○それに対する 回答等	意 見・質 問	回 答
	なし	
委員会による意見の 具申又は勧告の内容	なし	